

## 紀要の発行

当館では、美術館建設準備室時代の昭和58年度に第1号を刊行して以来、ほぼ毎年一回のペースで紀要を刊行してきた。

美術館活動の基盤となる学芸員の研究成果を広く公開し、館蔵品を中心とした美術作品の研究の進展に寄与することを目的とする。また、美術館の活動の一端を紹介する役割も担う。対象は館蔵品を主とするが、各学芸員の研究意欲に従い、広く美術および美術館をとりまく諸問題を取り扱う。成果品は、全国の研究機関、研究者等へ配布した。

29.6 × 21.1cm 49ページ

平成16年3月31日発行

### 第19号内容

#### 口絵図版

清水登之《セーヌ河畔》	静岡県立美術館蔵
同 《セーヌ河畔》	栃木県立美術館蔵
同 《乳母》	
同 《地に生きる》	栃木県立美術館蔵
同 《池畔》	栃木県立美術館蔵

谷文晁 「富士山図屏風」 静岡県立美術館蔵

#### 論文

- ・村上 敬  
清水登之《セーヌ河畔》について p.11-29
- ・新田建史  
景観図・平面図・眺望図 - ピラネージの作画態度について p.30-36
- ・飯田 真  
谷文晁筆「富士山図屏風」について p.38-46

